

こんにちは!戸田の会です。

戸田市議会会派 戸田の会レポート Vol.17(2021年10月発行)



10月4日、令和4年度予算要望を提出!

埼玉県戸田市議会 戸田の会

のざわしげまさ
野澤茂雅

やざわはるか
矢沢青河

さかいいくろう
酒井郁郎

すがわらふみひと
菅原文仁市長

あそうかずひで
浅生和英

さとうたかのぶ
佐藤太信

みやうちそうこ
宮内奏子

8月20日、全国の感染者数は2万5000人を超える過去最高を記録し、逼迫した保健所がクラスター対策を中止するなど、国の感染対策が機能しない重大事態となりました。同時期に小中学校は、新学期を迎えることになり、戸田の会では強い危機感を持って対応してまいりました。

そして、国ではトップが交代し、改革の行方が不透明となる一方、戸田市では国、県と協力しての洪水対策、防災を中心とした地域政策など、改革改善の必要な分野が山積しています。

戸田の会は10月4日、147項目にわたる来年度の予算要望を市長へ提出しました。市民の皆様の不安が少しでも解消されるよう、感染症をはじめ、戸田市の課題を着々と前へ進めてまいります。

学校コロナ 感染急増「第5波」に関するQ&A

Q. 学校を自主休校しても良いの？

⇒ 夏休み明けの登校への不安が増した8月下旬。自主休校に関する説明不足や文章の分かりづらさから、休校の判断に悩む保護者の声。分かりやすく、迅速な自主休校の周知を要望しました。

②咳、発熱等の風邪の症状がみられる場合（同居家族含む）は登校を控える（児童生徒については、「出席停止扱い」、教職員については「交通遮断休暇」）。あわせて、以下の理由による欠席については、「校長が出席しなくてもよいと認めた日」として扱い「欠席日数」とはせず、「出席停止・忌引等の日数」として記録する。
(ア) 医療的ケアが日常的に必要な児童生徒
(イ) 基礎疾患等のある児童生徒
(ウ) 感染不安のために欠席することに合理的な理由があると判断できる児童生徒

▲8月24日の学校通知

Q. 簡易給食にした理由は？

⇒ 感染急増に伴い、リスクの高い給食への不安の声が寄せられ、配膳不要の簡易給食を1週間実施。しかし、急な発注でコッパン、牛乳のみと育ち盛りには少ない献立に。まん延を見据えた計画的な給食提供を要望しました。

Q. クラスで陽性者、PCR検査は自費？

⇒ 学校や保育園、学童など、クラスで陽性者が出ても、PCR検査(約2万円)は基本的に自費。5人家族なら10万円という大きな負担は受診をためらわせ、感染拡大の大きな原因になりかねません。その後、PCR検査の公費受診が一部認められ、遡っての公費返済が行われることに。今後さらにクラス全員のPCR検査を無条件で実施するよう求めてまいります。

また、PCR検査の不足だけでなく、コロナ病床が確保されないことやクラスター対策の機能不全などの欠陥が明らかとなっています。抜本的な厚生労働省改革、医療制度改革が強く求められるのは当然として、戸田市は市民を守るための施策を独自に講じていかななくてはならないと強く感じます。戸田の会は、第6波に向けた備えを万全なものにするため活動してまいります。



酒井郁郎

代表・無所属・4期
1975年3月4日生
【経歴】東京大学
医学部卒業・修了、
マッキンゼー(経営
コンサルタント)、
(株)ポピンズ(保育)、
医学教育事業

中高年の健康維持のため、スポーツ施設や帯状疱疹ワクチンを無料に！

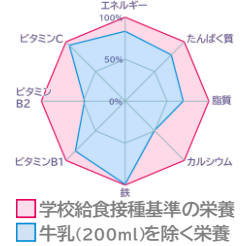
【背景】 コロナ自粛により高齢者の健康が心配されます。スポーツ施設や市内バスの無料化、多くの中高年を苦しめる帯状疱疹のワクチンの無料化などは疾病を減らし、また事業費用を大きく上回る効果のある優れた政策です。今回、担当部長からは明確な答弁がありませんでしたが、菅原市長には次回市長選の公約としてぜひ取り入れて頂きたいと考えています。

学校牛乳が飲めない小中学生に代替品を！

アレルギーや乳糖不耐症で牛乳を飲めない小中学生のカルシウム不足は深刻。

牛乳の栄養摂取量	飲む小中学生(平均300ml/日)			飲めない小中学生(0ml/日)
	牛乳からの接種量	1日必要接種量	割合	
カルシウム	330mg	600-800mg	40-55%	0mg
タンパク質	10g	30-50g	20-33%	0g

学校牛乳だけでなく、飲むヨーグルトや植物ミルク等の代替品からの選択制にすよう求めています。



さくら川整備計画、堤防高確保工事を早急に！

【背景】 2年前の台風でさくら川も溢水した。その後、溢水箇所は鋼矢板や土のうで対応しているが、被害を想定して事前対策をするべき。計画の進行を確認・要望した。



浅生 ①堤防高の確保 ▲鋼矢板護岸の整備を優先して早急に整備を。②早瀬橋～梅の木橋間の左岸側にも遊歩道を。③橋梁部分の治水対策を。④整備状況の周知を。
水安全部 ①宮前橋下流は鋼矢板護岸を

先行整備した。早瀬橋～下町橋間は一部擁壁の早期完成で堤防高を確保する。②安全に配慮した歩行空間確保に努める。③架け替え含め、来年度以降橋梁の調査・検討を実施。④進捗状況を掲載していく。

災害時情報の共有を！

浅生 全職員で災害時情報共有システム(T-DIS)を活用している。状況把握と避難に大変役立つため、自主防や消防団、市民と共有できないか、要望する。

危機管理課 平常時も考慮し、他自治体の取り組み事例を参考に「防災専用ポータルサイト」の構築の検討を進めていく。



あそうかずひで 浅生和英

幹事長・無所属・2期
【経歴】法政大学卒業、山一証券、美容室VASE
【資格】社会福祉士、精神保健福祉士
【議会】監査委員、総務(副委員長)



さとうたかのぶ 佐藤太信

無所属・2期
【経歴】中央大学、大正大学院卒業・修了、東京電力(株)、児童福祉施設乳幼児教育相談、スクールカウンセラー
【資格】臨床心理士

システムの改善、利用料のキャッシュレス化を！

佐藤 ①文化会館、スポーツセンター等が予約できるよう公共施設予約システム改善を。②公共施設利用料のキャッシュレス化を。③図書館貸出券の更新手続き、リクエスト申請のオンライン化を。

企画財政部 ①令和4年度システム統合時に経費削減等を含め検討する。②キャッシュレス導入に向けて検討を進める。

教育委員会 ③貸出券のオンライン更新手続きは調査・研究する。リクエスト申請のオンライン化は、令和5年10月の図書

館システム更新に向け、検討する。

高次脳機能障害の理解促進を！

佐藤 ①理解促進の状況は。②40-64歳の介護保険加入者(第2号被保険者)の希望するサービスがない場合、障害福祉サービスが受けられるよう役所内で連携を。
健康福祉部 ①数値的な効果は把握していない。障害者総合福祉計画等のアンケートで認知度を測ることを検討する。②状況によって両方を利用することができる。



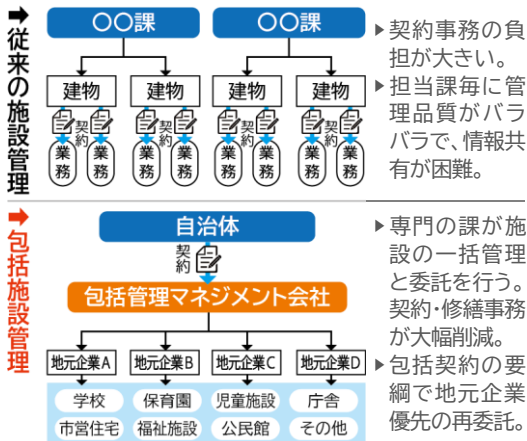


矢沢 青河

無所属・2期
1986年5月21日生
【経歴】鹿児島大学卒業、FM放送局、埼玉県議秘書7年(菅原文仁現市長)
【所属】消防団(第七分団)、防災士

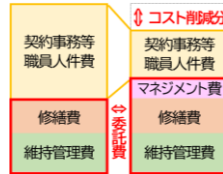
包括施設管理の導入を！

矢沢 複数の公共施設を一括委託する「包括施設管理」の導入自治体が増えている。



導入自治体では、①専門の課が一元管理し職員の契約・修繕事務の大幅削減や管理の質向上・均一化、情報集約が実現。②地元企業への発注は従来通り。③日常小規模修繕を契約に含むことで迅速な対応を施し、長寿命化・コスト削減が実現。

実際、明石市ではマネジメント費は3500万円増えたが、人員7名を減らし、4800万円のコスト削減を実現。三方よしの包括施設管理の導入を。



【従来】【包括管理】
企画財政部 現状の委託の効果等を見直し、包括を含め管理方法を研究する。

学校と地域が協働・融合した中学校部活動を！

野澤 市内中学校約100の部活動に対する「戸田市部活動方針」の効果は。

教育委員会 「量」から「質」への転換による効率的な部活動運営が行われている。

野澤 教員の働き方改革等に向けての外部指導者導入の現状は。

教育委員会 本年度はボランティア外部指導員27名、民間企業の専門家派遣委託5部活、任用職員の部活動指導員ゼロ。

野澤 外部指導者の導入だけではなく、「学校と地域が協働・融合した部活動」と

して、地域の専門家で設立される「地域クラブ」による土日の運用を提案する。学校運営協議会の協力が有効である。



日々部活動に励む生徒達

修学旅行の最適判断を！

野澤 児童生徒にとってのかけがえのない行事の実施にあたり、的確な判断を。

教育委員会 コロナ禍、安全面を考慮し、可能な限りの実施を念頭に計画する。



のざわしげまさ 野澤茂雅

無所属・1期
【経歴】東京理科大学卒、システムエンジニア、IT企業経営
【議会】市民生活、議会広報等
【その他】小中PTA会長、町会副会長



みやうちそうこ 宮内奏子

無所属・1期
【経歴】慶應大学文学部英米文学科卒業、翻訳者として特許事務所・翻訳会社に勤務後独立
【資格】英検1級、TOEIC970点

登下校見守りサービス※のさらなる普及を！

宮内 今年の4月に見守り防犯カメラとともに開始した小学生の「登下校見守りサービス」の加入率は約10%である。これからさらに加入率を増やすための工夫は？

市民生活部 令和4年度の見守りサービス利用は、令和3年度と同様、登録手数料無料や初回無料期間を実施するよう事業者と調整を行う。効果的な周知方法なども協議し、加入促進を検討する。



宮内 他の自治体では、希望するすべての児童に見守り端末を無料で配布して、児童全員が登下校見守りサービスに加入している地域もある。戸田市においても、現在の10%の児童だけではなく、より多くの児童が登下校見守りサービスに加入して、さらなる登下校の安全対策に力を入れていくことを要望する。また、この登下校見守りサービスを、高齢者の見守りや、幼稚園や保育園の園児たちの位置情報の確認など様々な分野にも応用していくことも提案する。

※登下校見守りサービス：子どもが防犯カメラに近くと位置情報がサーバーに記憶され、保護者がスマホ等で移動履歴を確認できるサービス

10月4日に菅原市長へ提出した令和4年度予算への147項目の会派要望(一部抜粋)をご報告します。

広報「戸田市」の全戸配布

全市民へ届き、町会負担も軽減される広報誌の全戸配布を！



スポーツセンターの整備

スポーツセンターの修繕コスト抑制と多様なスポーツ環境整備を！



子どもの不登校いじめ対策

問題の根本「家族」を支える福祉の専門家スクールソーシャルワーカーの常勤を！



ボール公園などの整備

ボール公園など誰もが楽しめる多様な公園整備を！



障がい者雇用や居場所の確保

民間等と連携した就労支援や居場所確保、親子後の支援を！



高齢者などバス無償化

高齢者や障がい者など路線バスやtocoバスの無償化を！



中高年の健康づくり支援

中高年が気軽に利用できる運動拠点の整備を！



带状疱疹ワクチンなどの助成

带状疱疹ワクチン接種の助成、がん検診の見直しを！



新型コロナ対策の強化

抗体カクテル療法やアフターコロナ受け入れなど対策強化を！



学校などのPCR検査

学校など感染者発生時、クラス一時閉鎖とPCR検査を！



川岸流通施設等の環境対策

大規模施設が計画された場合、周辺環境を守る積極的な対策を！



ボートコース等大規模水害対策

ボートコースの越流堤廃止、市内冠水の調査と対策徹底を！



市民に親しまれてきた保養所「白田の湯」廃止へ

50年以上の長い間、戸田市の子どもから高齢者まで利用されてきた市保養所「白田の湯」。9月議会で審議の結果、今年度末の廃止が決定しました。戸田の会では、2018年に市民生活委の年間活動テーマに推薦して議会内での検討を促し、また会派をあげて長年にわたり存続の道を探りましたが、この度は廃止やむなしとの結論に至り、廃止の議案に賛成しました。



- 1 利用者が市民のごく一部に限られており、大部分の市民から廃止することへの支持があること
- 2 医療や福祉ではなく「レジャー」に対して年間約1億円の税金を投入することは疑問であること
- 3 旅行による移動や宴会など、普段と異なる生活をする事で体調を崩す場合が多く、「健康増進」という事業目的に合わないこと

「白田の湯」の廃止後はホテル・民宿等への宿泊補助を行ってはどうかとの案もあります。しかしながら、戸田の会は上記の理由から「白田の湯」に代わる保養事業は不要と考えますがいかがでしょうか？ご意見をお待ちしております。

埼玉県戸田市議会

戸田の会

会派モニター 募集中！

①ホームページ todanokai.com

②メール info@todanokai.com

③電話・FAX 048(871)6391

④郵送 〒335-0034 戸田市笹目5-4-15

